

☆ キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント

2019年9月2日号

=vol.31=

～ごあいさつ～

こんにちは。ホワイトボックス コンサルティング部の阿部勇司です。8月初旬の週末、近所にある向日葵畑へ足を運ぶ機会がありました。ツールドフランスという自転車レースをご存知でしょうか。毎年7月から3週を間かけて、自転車でフランスを一周する、100年以上の歴史を有するこのレースは、世界で30億人が観戦するといわれています。このレースでは、レース展開もさることながら、フランス各地の広大な自然が映像に映し出されるのも印象的で、なかでも私が印象に残っているのが、カラフルなチームユニホームとともに映える向日葵。そんな訳で、今年の夏、ローカルなエリアの向日葵畑にしながら、気分はフランス、というささやかな時間を楽しめました。

さて、今回の《☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント》は、次の内容でお届けします。

【目次 (Contents)】

- ◆今号の注目 Topic : 「消防防火・防災対策を考える」
- ◆WB's Opinion : 「地域に根ざすという意味」
- ◆お知らせ
- ◆編集後記

*本メールは、ホワイトボックス（株）コンサルティング部スタッフと名刺交換をさせて頂いた皆さま及び弊社がサイト運営している、ドクターレジャーボックスのWebサイトに無料会員登録された皆さまへお送りしています。配信停止を希望される方は、お手数ですが本メール文末にある購読解除手続きへお進みください。

【今号の注目 Topic】

▽消防防火・防災対策を考える

今号のテーマは、9月1日が「防災の日」ということで、医療機関等における消防防火・防災対策について取り上げてみました。9月1日が防災の日とされた経緯には、1923年（大正12年）の9月1日に関東大震災が首都圏を襲ったこと、そして、この時期が台風シーズンを迎える時季でもあり、地震や風水害に対する認識を深め、平時から周辺の備えについて

確認をする日、という思いから、1960年（昭和35年）の6月に閣議決定がされたそうです。そんな防災の日、自院の防火・防災体制を振り返ってみるのも悪くないかもしれません。

<http://bit.ly/2zLGf7T>

【WB's Opinion 「地域に根ざすという意味」】

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められています。病病連携、病診連携、医介連携をはじめ、介護療養病床の機能強化型や介護医療院では、「地域貢献活動」への取り組みをすることが、その算定要件にもなっています。

この場合の地域貢献活動とは、地域住民への健康教室や認知症カフェなどを介し、地域の高齢者や地域住民との交流を促進し、高齢者に活動と参加の場を提供するようなものを指しています。

ところで、医療機関には災害拠点病院であるかを問わず、災害発生時にはたとえ民間の医療施設であったとしても、その堅牢な建物を頼りに一時的に地域住民が集まってくることが考えられます。実際、私が病院に勤務していた時代に発生した東日本大震災を機に、私たちの病院は自治会との関係を深めていきました。

地方の山間部に所在するある病院の看護部長は、セミナー等を介して知り合った他県の看護部長を介し、その病院と提携し、災害時には空から数日間分の非常食を提供してもらえるよう取り計らったという話を聞きました。山間部であっても、土砂災害等があれば、道路が寸断される危険があることは、昨今の自然災害の記憶を辿れば、その危険性は想像に難くありません。

以前、このメルマガでもBCPについて取り上げたことがありました（2018年7月31日号 <https://goo.gl/f5Vku2>）。BCPの策定プロセスは複雑で、決めるべき事項も多いことから、策定に二の足を踏んでいる医療機関も多いかもしれません。しかし、災害はいつ訪れるかは誰にもわかりません。そのため、優先順位を決めてできることから取り組んでおくことが重要です。

災害が発生した場合でも、病院へ駆けつけられるスタッフは誰か。食料や水はもちろん、薬剤や医療材料はどのくらい余裕をもたせているのか。緊急を要する患者の要求にどこまで応えることができるのか等々。

沿岸部、山間部、都心部といった、医療機関等の立地によって、被害の想定も、またそこからの復帰のスピードにも違いがあることが想定されます。最低限の優先順位をつけて、災

害対策を検討しておくことが有効ですし、有事に備えて日ごろから、地域と連携しておくこと。これが、地域に根ざす真の意味ではないかと考えます。

【お知らせ】

▽書籍のご紹介「サクセスキューブ このフレームワークであなたも必ず成功できる」

<http://www.whitebox.co.jp/success-cube/>

= 成功を「誰にでも再現できるものに」 =

弊社代表 石井友二の最新刊が幻冬舎から発刊されました。本書では、成功の要件に欠かせない 6 つの要件、「思い」×「信念」×「技術」×「人間力」×「コミュニケーション」×「達成感」を、私たちの身近にあるサイコロ（キューブ）の 6 つの面を使って表現することで、誰にでも理解しやすいフレームワーク「サクセスキューブ」として示しています。

一流のビジネスパーソンが無意識に実践している思考法を、“キューブ”を使って理論化した最新刊は、以下の URL から電子書籍でもお求めできます。

<https://www.gentosha.co.jp/book/b11933.html>

【編集後記】

普段はまず感じることはないのですが、40 代も後半に入ると、さすがに時々ジェネレーションギャップを感じる場合があります。今回のテーマがまさにそれに該当する話題で、9 月 1 日が防災の日ということを知らない、そもそも大正 12 年の関東大震災を知らない若いスタッフさんとの会話が、今回テーマとして取り上げた契機でもありました。

近年では、阪神淡路大震災や東日本大震災のような大規模災害が起こっていますし、先日も、九州地方の大雨で佐賀県の病院が浸水被害にあったばかり。大きな被害がなかったことは何よりでしたが、先人たちが残した教訓を今に引き継ぎ、平時の備えについて考えることを、いつの時代も大切にしていきたいものです。

▽ご意見・お問い合わせ

本メールマガジンは自動配信システムを利用して送信しております。そのため送信元のメールアドレスに返信しても届かない場合がございますので、ご意見・お問い合わせ等につきましては、お手数ですが以下のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ support@whitebox.co.jp

▽登録解除フォーム

メールマガジン購読解除を希望される方は、下記のフォームから手続きをお願いします

<https://goo.gl/QWL7dE>

▽ホワイトボックス(株)メールマガジン「☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント」
は毎月15日と月末に発行予定です(該当日が週末の場合は、週明けに発行します)。

発行：ホワイトボックス株式会社 コンサルティング部

HP <http://www.whitebox.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-11 銀座120ビル7階

☎：03-6278-8741

*掲載記事の無断掲載を禁じます

Copyright ©ホワイトボックス株式会社 All Rights Reserved.